

介護職員 月給4.6%増

全産業より7万円低く

24年9月
厚労省調査

厚生労働省は、介護職員ら受け取る介護報酬が加
の2024年9月時点の平 算される制度があり、利用
均月給が23年同月比4・6 した事業所の状況を調査

する職員不足の解消に向
は、一層の賃上げなど対策
を急ぐ。
加算制度は賃上げを促す
目的で導入している。調査
は24年10月、全国の訪問介
護事業所や特別養護老人ホ
ームなど1万3801カ所
・5%の事業所の月給を分
析した。
賃上げの方法(複数回答)
は「ベースアップなど」が
最多の59・8%で、「定期
昇給」の43・6%と続いた。
厚労省が発表した24年の
賃金構造基本統計調査によ

「死は光」がんになり納得

宗教学者 鎌田東二さんインタビュー

2022年に告知を受け、その後ステージ4に進行したがんと
共に生きる京都大名誉教授の鎌田東二さんが新著「日本人の死生
観」(I・II、作品社)を刊行した。鎌田さんと親交があり、著
書「自分だけが、ないから。」が話題のしんめいPさんが、自らの
死を見つめる宗教学者に話を聞いた。

全てがいとおいしく自由に

〈病状は〉
順調に悪化している。脳に
転移し、パソコンで文字を打
つのも一苦労。嗅覚が敏感に
なり、ラーメンや焼き鳥のにおい
で気持ち悪くなる。あま
り食べられず自然と断食して
いるような感じだね。逆に心
はフル回転している。体調は
最悪、精神は最高。そんな状
態です。
〈断食をする上での精神が活
化すると言います〉
受動的な断食だね。仏教で
は、断食をする上での知恵や慈悲
の心が湧いてくるよとされる。
そんな感じで、あらゆるもの
がいとおいしく、感謝の気持ち
で見えてくる。
〈今回の本では、これまで
の先生の学問的な探究がつづ
られています〉
日本人の民間信仰では元
々、あの世とこの世とは断絶
してなく、往来できると考え
る。生と死の循環が死生観の
根本構造。縄文時代から続く
考えで、私の中にも引き継が
れている。だから私の貴は、



鎌田東二さん(右)としんめいPさん(左) 京都府

かまた・とし 1951年、
徳島県阿南市生まれ。「神界のフ
ードブック」「饗真論」「宗
教と霊性」など著書多数。詩人や
音楽家としても活躍。詩集に「絶
体絶命」「いのちの帰郷」など。

しんめいP 1988年生まれ、
大阪府出身。東京大卒。無職で引きこ
もっていた時に東洋哲学と出会い、そ
の哲学を簡明に解説した「自分だけが、
ないから。」を刊行。20万部を超える
ベストセラーになっている。

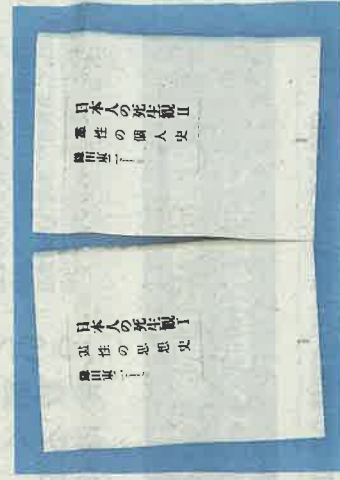
と。>
2年ほど前に余命3年と言
われたので、短くて今年いっ
ぱい。体感的にもね。でも、
もつ少し食べられれば、あと
1年半はいけるかもしれない。
〈先生は正直、死んだらど
うなるのでもう〉
輪廻(りんね)転生がある
かは分からない。でも、自分
についての記憶や残した言葉
などが、家族や友人の中に

「怖くない」 強い説得力

精力的な姿に感銘

話を聞いたとき、私は36歳。鎌
田東二先生が語ってくれた言葉
の本当の意味を羨望するのほ、ま
だ難しい。正直、死ぬのも、病気
も怖い。白髪も出始め、老いも怖
い。ただ、先生の言葉そのものよ
りも、がんを生きるその在り方に
感銘を受け、勇気をもった気が
した。
余命宣告を受けてなお、先生は
精力的に動き回っている。著作を
何冊も出版し、各地を旅し、弾き

「日本人の死生観」(I・II)



の祭りみたいにならばいい。
〈もしタイムマシンがあっ
て、がんを治せるとしたらど
うしますか〉
なんとも言えないかな。宮
沢賢治の「注文の多い料理店」
の序文に「ちぎとちぎとほん
とつのだいもの」という言葉
がある。寿命に関係なく、要
は死ぬ時にこの「ほんとの
ちぎとちぎ」を食べられるかど
うかが大事なんだと思う。
それはその人の生き方を、心
の栄養になってきた言葉。
南無阿弥陀仏でも、ありがた
うでもない。自らの血肉にな
った言葉を最後に食べて死ぬ
ことができるかどうか、それ
が生きることのキーワードな
んじゃないかな。

語りつづけている。さらに、
毎日のように長時間の動画をユー
チューブに上げている。とてもス
テージ4とは思えない、驚くべき
バイタリティーだ。先生は「死は
怖くない」と言う。確かに、先生
の生き方(あるいは死に方)を見
ていると、その言葉には、強い説
得力がある。
「ほんとのちぎとちぎ」の話は、
まだ今の私にはよく分からない。
もしかすると、死ぬ瞬間に理解で
きるのかもしれない。「死が贈与
である」なんて、考えたこともな
かった。でも先生の生き方から、
既に大きなものを受け取っている
ような気がする。私の死もまた贈
与になるのだろうか。そう思うと、
死はただ怖いものではなく、な
るかに思えてきた。(著述家)

二世・易八人の

ざようの運勢

「夢まじい日々だったからな。その感じ
のも無理はないか」
「はい。何もかもが目まぐるしく」
「佐吉の書状は読んだ。素直すぎるから付
いてこれ」
後に続いて歩き始めると、八右衛門
ちらりと振り返ったのを鋭敏に察し、
「向かいだったか」

柄も仕官を許された理由であつた。
さらにその経歴は端正にして、横俵、六尺
四寸の鶴の如く引き締まった体軀。女衆
からの人気も頗る高いらしい。
「久し振りと言つた、尾崎で会つたばかり

本龍寺にや

今村 翔吾・作 木村 浩之・画

二章 秀吉の集り(5)

【紙面編集】高橋

「意見や情報、取り上げてほしい」
とご連絡ください。〒790-801
1 (佐賀県) 愛媛新聞生活文化部 電
話089(9330)22333、17777
089(9330)14888、X-10Sei
katsu@ehime-np.co.jp

11日	(金)	仏滅	◎最良	○良	△普通	▽注意	吉数	吉色	方位	健康	金銭	愛情
1	月	誠実に尽くしてきた仕事に大きな成果あり					4	赤	南	△	◎	○
2	月	雑事に追われ多忙だが、まあまあの展開に					6	茶	北東	△	△	○
3	月	やたら調子いい人に注意。巧言令色は眉唾					1	青	東北	○	○	▽
4	月	調子づいて先走ると要らぬ出費強いられる					5	金	西北	△	▽	○
5	月	親しき仲にも礼儀。高ぶらずおごらず接す					3	朱	南東	△	○	△
6	月	豊かな愛に包まれている幸福を実感する日					8	白	西	○	△	◎
7	月	頑張っている最中に気力がおれ中途半端					9	黒	北	▽	○	△
8	月	前に出すぎると思われぬ損。何事も控えめ吉					3	桃	東南	○	▽	○
9	月	諸事きちようめんにやり遅滞なく推移する					7	黄	南西	○	△	△
10	月	いい話が飛び込みそう。慌てず十分吟味を					10	紫	北西	▽	○	○
11	月	タイミングとらえリズムに乗れば後は榮々					2	緑	東	◎	○	△
12	月	その場のぎは不可。やはり誠実さが鍵に					7	銀	西南	○	△	▽